



左から椎名市長、吉野さん、大槻副市長

ウガンダでの経験をいかしたい

青年海外協力隊員を終えて よしの ひろし 吉野 洋さん

平成20年3月にアフリカのウガンダへ出発した青年海外協力隊の吉野洋さんが今年3月に帰国、4月9日市長を表敬訪問しました。

吉野さんは、臨床工学技士として病院に勤務していた経験をいかし、医療機器のメンテナンス、現地の病院スタッフの教育指導、普及活動などを行ってきました。「驚いたことは、日本人のように社交辞令を使い、コミュニケーションをとるのが上手で、環境は違うけれど現地に溶け込みやすかった。また、思いのほか便利で進んでいて、携帯電話の普及率も90%ほど。医療も進んでおり、レベルが上がってきていますね。」と話してくれました。

医療の現場へ復帰する吉野さん。「今後は、この2年間の貴重な経験をいかしていきたい」と意欲をのぞかせていました。

おかあさんも楽しんでます

8年目のちびちびクラブ

ちびちびクラブ(第3回)が5月14日、さんぶの森図書館で行われました。

このクラブは、全8回行い、絵本の読み聞かせ・手遊び・お家で楽しむ絵本を、段階をふんで毎回紹介しています。参加者は、2・3歳児とその保護者20組です。

「お母さんには絵本を読んでもらう楽しさ、そしてお母さんが楽しければ、子どもはもっと楽しくなるということを知ってもらいたい。また、いろいろな絵本を紹介することで大好きな一冊がみつければいいな・・・という思いで続けてきました。毎回子どもたちとみつけるワクワク・ドキドキを楽しみに絵本をひろげています」と代表の金子さんは話します。



ホットケーキ さあ どうぞ



いやしの時間をどうぞ

左千夫春の宴「ゆづりは茶会」

正岡子規から「お茶博士」と称された左千夫

5月2日、左千夫顕彰事業のひとつ「ゆづりは茶会」が晴天の下開催されました。

参加者は、普段は入室できない左千夫生家・茶室「唯真閣」でお茶のお点前を拝見し、お茶・お菓子をいただきました。

この茶会に毎年参加する人が多く、「毎年楽しみにしています、来年も来ます」と話していました。

左千夫のお茶精神を継承している茶道団体『唯真会』会長榎本さんをはじめ、会員の皆さんが和服で参加者173人を迎え華やかさを演出していました。